



2026年2月9日

各 位

会 社 名 N I S S O ホールディングス 株式会社
代表 者 名 代表取締役社長執行役員 清水 竜一
(コード番号: 9332 東証プライム市場)
問 合 せ 先 取締役執行役員 野村 健一
(T E L . 0 4 5 - 5 1 4 - 4 3 2 3)

2026年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績動向を踏まえ、2025年5月12日に公表いたしました2026年3月期通期連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）の修正を行うことにいたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想修正について

(1) 2026年3月期通期連結業績予想数値の修正（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 115,000	百万円 4,000	百万円 4,000	百万円 2,500	円 錢 74.13
今回修正予想 (B)	112,000	3,300	3,300	1,900	56.34
増減額 (B-A)	△3,000	△700	△700	△600	—
増減率 (%)	△2.6	△17.5	△17.5	△24.0	—
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	101,560	3,555	3,563	1,935	58.92

(2) 業績予想修正の理由

2025年5月12日に公表いたしました「2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」における「2026年3月期通期連結業績予想」では、当社グループが注力するオートモーティブインダストリー（自動車製造・EV関連製造業界）について、米国関税の影響は想定されるものの、生産台数に大きな変動はなく、人材ニーズは堅調と見込んでおりました。しかしながら、濃淡はあるものの数多くのメーカーおよびサプライヤーの需要が停滞し、結果として人材ニーズも横ばいで推移しました。その結果、収益性が高く連結売上高の約4割を占めるオートモーティブの在籍人数が前年同期比で減少しております。

直近では回復の兆しが見られるものの、今期の計画を達成できるレベルの人材ニーズは見込めない状況となっております。

一方、セミコンダクターインダストリー（半導体製造業界）においては、当社グループの注力メーカーの事業自体は堅調に推移していますが、一人当たりの平均稼働時間については当社想定には至っておりません。また、2026年・2027年の半導体・バッテリー新工場の本格稼働に向けた人材育成を継続しておりますが、稼働状況の遅れから人材ニーズにも遅れが生じています。

これらの状況により、M&Aの寄与による一定の売上高増加は見込まれるもの、収益性の高いオートモーティブの減収、エンジニア系人材サービスの一時的な成長鈍化と育成コストの回収遅れ、のれ

ん償却費の増加などが影響し、売上高・営業利益・経常利益・当期純利益はいずれも当初計画を下回る見通しとなりました。

以上により、現時点において入手可能な情報をもとに、通期連結業績予想を修正いたします。

(業績予想等に関する注記事項)

業績予想等の将来に関する記述につきましては、当社グループが現時点で入手可能な情報および合理的と判断される前提条件に基づき算出したものであります。

実際の業績等につきましては、様々な要因の変化によって予想値とは異なる場合があります。今後、業績予想等に関し開示すべき重要な事象が発生した場合には速やかに公表いたします。

また、配当につきましては予想の修正は行わないこととし、期末配当金は25円00銭を予定しております。

以上